

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー 田平ゆき、川口、谷山、福島、徳山、柿森、チーター、パイン、
江上、板見、武次雄大、武次寿子、蛭間、池田、園田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総数）
前回の課題について 取り組めましたか？					

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティングなどを通じて共有していますか。	5	9	1		15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	1	13			15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いの声掛けや気遣いができていますか？	7	8			15
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	3	11		1	15

できている点

本人様の情報をもとに会話などのコミュニケーションを図り、人柄などを理解している。分からない時は内容を確認しながら対応にあたっている。看護の視点から必要な情報をとり、利用者様に関わるようにしている。

訪問や送迎時にご家族がいる場合は、デイの様子や状態報告を行い、関係づくりに配慮している。通いの方は連絡帳の活用を行っている。

利用開始前にサマリーに目を通し、ミーティングにおいて不明点を確認し対応にあたっている。実際に関わるようになってからは本人の性格、好み、家族構成、これまでの人生が理解できるよう声かけ、会話を行い、信頼していただけるように努めている。

できていない点

ケアプランなどの把握が不十分なところがあり、本人家族ニーズを十分に理解できていない。夜勤専従の為、家族と接する機会が少ない。

ご家族の思いを十分に聞き出せていない。限られた家族としか、お会いする機会がなく、お会いできても時間に余裕がなく深い話までできていない。

次回までの具体的な改善計画

ケアプランは利用者様個人ファイルに挟んでいるが、なかなか職員へ周知できていないため、ミーティングや申し送りの際に施設長やケアマネから情報共有を行っていく。また、利用者様の利用に至った経緯やニーズを知ることも大事なので、業務の合間で目を通していく。

訪問時や送迎時に携わる職員が何気ない会話から利用者様やご家族への声かけを行い、情報を聞き取りアセスメントできるように心がけていく。アセスメントができなければまずは、情報を聞き出すことから始めて施設長やケアマネ、看護師に相談する。

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

メンバー 田平ゆき、川口、谷山、福島、徳山、柿森、チーター、パイン、
江上、板見、武次雄大、武次寿子、蛭間、池田、園田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総数）
前回の課題について 取り組めましたか？					

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくでき ている	なんとかで きている	あまりでき ていない	ほとんどでき ていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		9	5	1	15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		11	4		15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1	11	3		15
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	4	10	1		15

できている点

本人の目標、したいことについては、本人と会話し、理解、実現できるよう努力している。また、個人の判断で決められないことについてはミーティングにて発言し、協議を求めている。

ミーティングで本人の状態について協議し、実践して評価し、それを日々の申し送りで話し合っている。

秋にはBBQをしたいという希望も取り入れてリアン敷地内でのBBQを行った。

できていない点

本人の意思に反し、全体の業務を優先させることがある。ケアプランの理解が不十分でケアプランに沿った介護ができていない。

本人様が現時点で自宅に戻れる状態ではないが、家に帰りたいという認知症の方などの本人の要望には応えていない。

個別の機能訓練が必要な方の対応が最近ではあまりできていないことがある。

次回までの具体的な改善計画

本人の意思に反して業務優先という言葉には語弊があると思うが、認知症のある利用者様の例えば「家に帰りたい」という気持ちは、可能であれば家族と話をして帰れる日を調整できるように取り組んでいる。家では家族の見守りが必要な方でも協力を求めて実現できている方も数名はいらっしゃると思う。引き続き、利用者様の思いを傾聴し、可能な限りで自己実現の取り組みを行っていく。帰宅願望にだけ焦点をあてるのではなく、日々の活動の中に充実感や楽しみを得られるようなアクティビ、機能訓練を行っていく。施設内での機能訓練だけになりがちなので、外出先での歩行訓練やドライブや花見など季節ごとのイベントも取り入れて活動の幅を広げていく。

3.日常生活の支援

メンバー 田平ゆき、川口、谷山、福島、徳山、柿森、チーター、パイン、
江上、板見、武次雄大、武次寿子、蛭間、池田、園田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総数）
前回の課題について 取り組めましたか？					

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		4	6	5	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	7	8			15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	8	5	1	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	7	7	1		15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	3	12			15

できている点

本人の状況に合わせた介護を都度確認して対応にあたっている。ミーティングにおいて本人の思いを伝えている。本人の状態変化に合わせて介護リーダーに報告できるようにしている。

本人の身体精神状態を都度観察し、変化を見逃さないよう努めている。また、それを申し送りにて報告様子観察を促している。

本人の状況に応じた食事提供（形態や時間）、その時々の変化に応じて、食事介助や入浴、排せつ介助などを行うようにしている
日々のかかわりの中で会話や表情などからも変化に気づけるよう留意し、気持ちやバイタルの移乗、体調変化時は情報共有し、都度対応を行なっている。

できていない点

職場内での情報共有ができていない。本人の気持ちより業務処理を優先させることがある。

本人の事を深く理解するために、様々な会話をおこなうように心がけているが、全員について10個以上把握はできていない。

ときどき排泄などを待ってもらう時がある。

次回までの具体的な改善計画

情報共有が不十分なことがあるため、申し送りノートに都度記載する意識を持つようにする。また、全体にすぐ周知しておく必要がある内容についてはグループラインを用いて迅速に共有していく。

利用者様との会話を増やして気持ちや体調の変化に気づけるような関わりを行っていく。

排泄などを待つことがないように、時間誘導を行っているため、継続していく。

4.地域での暮らしの支援

メンバー 田平ゆき、川口、谷山、福島、徳山、柿森、チーター、パイン、
江上、板見、武次雄大、武次寿子、蛭間、池田、園田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総数）
前回の課題について 取り組めましたか？					

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくでき ている	なんとかで きている	あまりでき ていない	ほとんどでき ていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係 等を理解していますか？	1	11	3	1	15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切 れないように支援していますか？	1	10	2	3	15
③	事業所が直接接していない時間に、本人が どのように過ごしているか把握しています か？	1	9	5		15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域 の資源等を把握していますか？		4	6	5	15

できている点

送迎時などご家族へ日頃の様子をお伝えし、ご近所の方とお会いした際には挨拶や簡単なやり取りはできており、関係性は保たれている。
夜勤専従のため、限られた人数になるが、接する際できるだけ昔の話や好みなど、本人のパーソナルな部分が理解できるよう会話に努めている。
民生委員や自治会長、ふれあい収集なども連携をとり、認知症のある利用者様を地域の力も借りて可能な限り本人の望まれる生活を送れるよう
に支援している。

できていない点

夜勤専従の為、通いのみの方とは会話が少なくなってしまい、情報が収集しづらい。
家族や地域の方との直接的なかわりあがあまりないのでできていない。

次回までの具体的な改善計画

夜勤専従の職員もいるため、なかなか把握しづらい部分もあるとは思いますが、ご家族や地域の方が面会に来られた際にコミュニケーション
をとっていき、些細な変化やご家族からの要望に応じていけるようにしていく。
常勤のスタッフに関しては訪問や送迎時に近隣の方にしっかり挨拶を行い、些細な会話から理解と協力を求めつつ、本人様のリスクマネジメン
トに繋がりそうな情報収集を行っていく。

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 田平ゆき、川口、谷山、福島、徳山、柿森、チーター、パイン、
江上、板見、武次雄大、武次寿子、蛭間、池田、園田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総数）
前回の課題について 取り組めましたか？					

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2	6	5	2	15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	7	6	1	1	15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	7	7	1		15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	7	7	1		15

できている点

ふれあい収集、配食サービス、移送支援などを用いて通いや在宅での生活を手助けできている。また、通い時に体調変化があれば情報を共有し、バイタル異常の有無やベッドで休んでいただきながら観察を行い、ご家族への連絡と必要に応じて受診対応するなど柔軟な対応を行なっている。

本人様が月～金までの通いがきつくなっているという話を聞き、中日でお休みを作り訪問対応で対応できる日を作っていた。

利用者様やご家族の体調が悪く宿泊をして経過をみる必要がある時は柔軟に対応できている。

本人様から今日は訪問時間を使って掃除ではなく、買い物支援をお願いしたいという要望があった際は対応できていた。

できていない点

地域資源についての把握があまりできていない。

次回までの具体的な改善計画

社会資源の知識の向上と活用方法の研修を行う。

現在のサービスに不足がないかなど自分達でも気づけるように知識を身につけて必要な支援をミーティングなどにて提案していく。

6.連携・協働

メンバー 田平ゆき、川口、谷山、福島、徳山、柿森、チーター、パイン、
江上、板見、武次雄大、武次寿子、蛭間、池田、園田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総数）
前回の課題について 取り組めましたか？					

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくでき ている	なんとかで きている	あまりでき ていない	ほとんどでき ていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	5	3	6	15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		3	2	10	15
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	5	1	8	15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		3	3	9	15

できている点

訪問看護、訪問リハ、往診Dr、病棟の看護師、福祉用具などは、必要に応じて情報共有ができています。

地域の方々の協力を得て行われる餅つきなどの行事へも利用者様と共に参加ができています。

施設長やケアマネが大浦地区の集会やカンファレンス、担当者会議などに参加している。

できていない点

介護員の方は会議・イベントなどには参加していない。

子供などの地域住民はあまり事業所を訪れない。職員の子供くらいです。

次回までの具体的な改善計画

自治会の高齢化率も進んでいると聞いているため、地域のもちつきや自治会の活動で参加できることがあれば協力体制をとっていく。

7.運営

メンバー 田平ゆき、川口、谷山、福島、徳山、柿森、チーター、パイン、
江上、板見、武次雄大、武次寿子、蛭間、池田、園田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総数）
前回の課題について 取り組めましたか？					

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	4	7	2	2	15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	10	1	2	15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	9	1	4	15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1	8	1	5	15

できている点

利用者様、家族さんの要望や苦情があった際は迅速に対応し、改善しようと努めている。
 問題点や改善策など会議で発言している。自分の思うことをちゃんと言うことができている。
 職員間の風通しも良いため、直接施設長に言いにくいことは、周りの職員から情報として入ってくることもあるため、なるべく改善できるところは改善できるようにしている。

できていない点

地域の方との接点が少ない。

次回までの具体的な改善計画

自治会長や地域の方々、南ヶ丘に住んでいる職員もいるので、地域行事や地域活動で必要なことがあればお声かけしていただけるような関係性づくりを心掛けていく。

8.質を向上するための取り組み

メンバー 田平ゆき、川口、谷山、福島、徳山、柿森、チーター、パイン、
江上、板見、武次雄大、武次寿子、蛭間、池田、園田

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総数）
前回の課題について 取り組みましたか？					

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取り組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくでき ている	なんとかで きている	あまりでき ていない	ほとんどでき ていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加して いますか	3	6	2	4	15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参 加できていますか	2	3	4	6	15
③	地域連絡会に参加していますか			3	12	15
⑤	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	10	2	1	15

できている点

ミーティング内で研修を行ったり、動画鑑賞を促してスキルアップできるように取り組んでいる。
施設外研修では、実務者研修や新人職員は認知症介護基礎研修などに参加できている。
大浦地区で行われている会議や集まりにはなるべく参加している。
個々のご利用者様の状態に応じて見守りや介助方法を行っている。常にリスクがあることを意識し、予防に努めている。（店頭や誤嚥など）
申し送りによる情報の共有と事故発生時の再発防止に向けた取り組みを行っている。すべての行動において、どういったリスクがあるか考え、
リスクが発生しないための行動、リスクが発生した時の対策を考えている。

できていない点

リスクマネジメントの共有が不十分なことがある

次回までの具体的な改善計画

トイレの際に終始見守りが必要な方もいるため、時々理解しているのか離れてしまうことがあるため、全員の共通理解をできるようにミーテ
ィングや申し送りを通して情報共有していく。また、見守りリストやADL表など活用して認識がずれないように努めていく。

9.人権・プライバシー

メンバー 田平ゆき、川口、谷山、福島、徳山、柿森、チーター、パイン、
江上、板見、武次雄大、武次寿子、蛭間、池田、園田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総数）
前回の課題について 取り組めましたか？					

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	9	6			15
②	虐待は行われていない	10	5			15
③	プライバシーが守られている	5	6	4		15
④	必要な方に成年後見制度を活用している		2		13	15
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	4	4		15

できている点

身体拘束や虐待は研修で学んで意識して行わないようにしている。
 身体拘束とならないよう、どうしても転倒リスクのある方には赤外線センサーの活用などを行っている。
 トイレ誘導時やベッド上でのオムツ交換時にはドアを閉めて介助するように心がけ、プライバシーに配慮している。
 トイレ訴え時にトイレが空いてなかったりして待っていただくことがあるが、言葉遣いに留意し声かけ対応を行なっている。
 虐待については、言葉など無意識の発言を常に声掛けの内容を客観的に考えながら発言している。
 個人情報を他利用者様などに話をしないようにしている。

できていない点

見守りが必要な方などドアを開けて中の様子がわかるようにしているため、トイレのドアを半分開けて見守りを行いながら排泄していることがある。
 スタッフが少ない時にリビングとトイレの両方を見守りしないとけないため、ドアを半分開けてトイレをしてもらうことがありました。
 成年後見制度がよく分からない。
 個人情報については名前がわかるものはすべて該当するので、薬の空袋一つでも慎重に扱わなければいけないが、雑になっていることがある。

次回までの具体的な改善計画

見守りが必要だからということが当たり前になってしまい、トイレを覗き見るという行為に慣れてしまっているところがあるため、利用者様に一言断りを得てから見守りを行っていく。同意が得られない場合は遠目から見守りを行っていく。
 成年後見制度を利用されている方が、現在の利用者様にはおられないので、研修などを通して理解を深めていく。
 個人情報については薬袋に関しては捨てる際に必ず紙袋に入れるようにして破棄する。また、個人情報取り扱いに関する書式もあるので、他言しないことや利用者様の前で大きな声で話さないように配慮することを意識させていく。

